

日本語教育に関するニーズ調査結果

峯 正志・長野 ゆり

1. はじめに

金沢大学留学生センターでは、2002年3月に金沢大学で学ぶ全留学生に対して、日本語教育に対するニーズを把握するためのアンケート調査を行った。改めて留学生にそのような調査を行った理由は、私たちがこれまで金沢大学留学生センターで行ってきた日本語プログラム（主として総合日本語コース）を大きく改革する必要性を感じているからである。

改革の必要な理由はいくつかある。

ひとつは、世界のグローバル化に伴い、大学の国際交流が高まるにつれ、様々な目的を持った留学生が来るようになったことが挙げられる。これまでのように学部や大学院で学位を取る学生だけでなく、経験を豊かにする目的の短期留学生や日本語学習の単位を必要とする留学生など、様々な学生が来るようになり、日本語学習に対する目的意識が異なる学生が増えてきたのである。このような学生を果たして一つのコースで教えるのが妥当かどうか検討しなければならない¹。

また国立大学の法人化を控え、コース経営の効率化を図る必要もある。補講コースから総合日本語コースに改革した際、レベルの増加や技能別クラスの増設などで提供コマ数がかかり増加したが、そのようないわば贅沢な改革はこれからは難しくなる。必要な授業、求められている授業を見極め、クラスを整理していく必要があるだろう。

また、金沢大学は角間キャンパスへの統合も控えている。現在では角間キャンパス、小立野キャンパスの両方でクラスを開設しているが、平成17年度後期以降は小立野

1 金沢大学の総合日本語コースは、補講として日本語を学びたい学部生、大学院生、研究生などの他に、日本語の単位が必修となっている日本語・日本文化研修コース生、金沢大学短期留学プログラム（KUSEP）生、日韓共同理工系学部留学生コース生も受け入れている。本来目的の違う学生には違うプログラムを提供すべきなのかもしれないが、財政的な理由等でこのような（総合的な）プログラムとしている。なお、金沢大学留学生センターが行っている日本語プログラムには、この他に大学院入学前準備教育日本語研修コースがある。

キャンパスが角間キャンパスに移転するため、小立野キャンパスで行っていたクラス²をどうするかという問題が生じる。全くなくすのか、医学部・薬学部の学生のためのクラスを新たに設けるのか、あるいは角間キャンパスのクラスの充実に使うのか、議論しなければならないであろう。

このような理由から留学生センターで行っている日本語プログラムは改革の必要があるのであるが、その改革の方向性を探る資料を得るため、このようなアンケート調査を行ったわけである。

今回の報告は、そのアンケートの結果報告である。これを基に今後詳しい分析を行い、それを踏まえた上で、平成16年度の終わりまでに新しい総合日本語コースの改革案をまとめる予定である。

2. 調査の概要

調査目的は、

- 1) 金沢大学で学習・研究している留学生にとっての日本語の必要度を探る。
- 2) 希望する日本語の授業形態を明らかにする。

の2点である。

調査期間は、2002年3月（各学部の事務の協力を得て、金沢大学で学ぶすべての外国人留学生に対しアンケート調査用紙を配布した。回答の期限は2週間とし、各学部の学務係に届いた記入済み調査用紙を回収した。）

調査対象は、2001年11月現在金沢大学在籍の外国人留学生365人。

回答数は、男性50人、女性40人で、回収率は24.7%。

質問用紙の見本を論文末に載せる。（資料1）

3. 調査結果

この章では、質問項目それぞれの回答内容について報告する。（以下、見出しの数字は調査用紙における質問の番号である。）

2 金沢大学には角間キャンパス（文学部、法学部、経済学部、教育学部、理学部）、宝町キャンパス（医学部、薬学部）、小立野キャンパス（工学部）があるが、総合日本語コースは角間キャンパス、小立野キャンパスでのみ行っている。小立野キャンパスでの授業は、工学、医学、薬学専攻の留学生を対象としたものである。

問1 ここでは、アンケート対象者の属性について尋ねた。

1.1 年齢：10代1人 20代41人 30代44人 40代4人

アンケート対象者の平均年齢は30.0歳であった。

1.2 性別：男50人 女40人

1.3 国籍

中国48人，エジプト5人，バングラディッシュ5人，フィリピン5人，韓国4人，タイ3人，イラン，オーストラリア，ベトナム，モンゴル，ロシア各2人，アルゼンチン，インド，インドネシア，カメルーン，チェコ，ドイツ，パレスチナ，ブルガリア，ポーランド，マレーシア各1人。

1.4 所属

自然科学研究科	42人	社会環境科学研究科	2人
医学部・医学系研究科	14人	理学部	1人
教育学部・教育学研究科	11人	工学部	1人
留学生センター ³	5人	薬学部	1人
経済学部・経済研究科	4人	その他 ⁴	6人
文学部・文学研究科	3人		

1.5 身分 学部生5人 大学院生60人 研究生20人 その他5人

1.6 来日から何年経つか（アンケート実施時点）

半年未満	21人	2年以上3年未満	15人
半年以上～1年未満	6人	3年以上4年未満	10人
1年以上～1年半未満	14人	4年以上	19人
1年半以上～2年未満	4人	不明	1人

1.7 予定日本滞在期間

1年未満	9人	4年以上～5年未満	9人
1年以上～2年未満	6人	5年以上～6年未満	9人
2年以上～3年未満	1人	6年以上	7人
3年以上～4年未満	14人	不明・未定	35人

3 日本語研修コース生，金沢大学短期留学プログラム（KUSEP）生，日本語・日本文化研修コース生，日韓共同理工系学部留学生コース生から成る。

4 不明な回答および無回答のもの。

アンケート時点での平均留学期間は28ヶ月であった。また、帰国時期を(月まで)明確に答え留学予定期間を計算できる学生(55人)の平均留学期間は44.6ヶ月であった。

1. 8 来日前の日本語の学習歴

有り48人(平均学習歴18.6ヶ月,中央値6.5ヶ月) 無し40人 不明2人
「有り」の内訳

3ヶ月未満	7人	1年以上1年6ヶ月未満	3人
3ヶ月以上6ヶ月未満	13人	1年6ヶ月以上2年未満	4人
6ヶ月以上1年未満	7人	2年以上	14人

問2 日本語の必要度

ここでは、留学生個々の日本語の必要度について聞いてみた。必要度のレベルを「とても必要・かなり必要・普通・あまり必要ではない・不要」の5段階で評価してもらい、その後「とても必要」を5点とし、以下1点ずつ下がり「不要」を1点として点数を付けた。ここでは、それぞれの平均点を載せる。

1) 生活に必要なレベル

読む 4.1 書く 3.7 話す 4.7 聞く 4.7

2) 日常的话题を扱うレベル

読む 3.9 書く 3.8 話す 4.6 聞く 4.6

3) 知的な話題を扱う日本語

読む 4.0 書く 3.5 話す 3.8 聞く 4.1

4) 自分の専門分野のことを扱う日本語

読む 4.2 書く 4.1 話す 4.3 聞く 4.4

問3 今、金沢大学で日本語のクラスを受けているか

受けている36人 受けていない54人 履修率40%

金沢大学の留学生数は約350人前後であり、毎年総合日本語コースと日本語研修コースで120人前後受け入れているので、金沢大学の日本語プログラムの履修率は大体30%強ということになる。ここでの数字もそれに近い数字になっている⁵。

問4 問3の質問で「受けている」と答えた人は、どのクラスを受けているか

総合日本語コース	27人
教養的科目日本語B	5人
その他 ⁶	3人
無回答	1人

問5 今受けている日本語クラスの満足度

問4の回答に見られるように、回答者には総合日本語コース以外の日本語プログラムを受けている学生も含まれている。それらの回答を一緒にして満足度を出すには問題があるので、以下に示すものは「総合日本語コースを受講している」と答えた27人の回答の結果である。

5.1 今受けているクラスに、どのくらい満足しているか

「満足」を5点、「不満」を1点として平均点を計算すると3.8点である。

満 足	大体満足	普 通	あまり満足していない	不 満
4人	18人	2人	1人	2人

5.2 今受けているクラスのレベルは、あなたの日本語のレベルに合っているか

高すぎる	やや高い	ちょうど合っている	やや低い	低すぎる
0人	6人	18人	2人	1人

5.3 クラスの時間数（週何回か）についてどう思うか

多すぎる	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少なすぎる
0人	5人	16人	5人	1人

5.4 クラスで教えられている内容について、どう思うか

「とても良い」を5点、「良くない」を1点として平均点を計算すると3.9点である。

とても良い	大体良い	普 通	あまり良くない	良くない
4人	16人	6人	1人	0人

5 金沢大学総合日本語コースの履修率（在籍留学生に対する履修者の割合）については、『金大キャンパスの国際化を考える 金沢大学留学生センター自己点検評価1995.4～2002.9』（2003）金沢大学留学生センターのp. 80～81を参照のこと。

6 「その他」としたのは、どのクラスか特定できないものである。

5.5 5.4で「あまり良くない」「良くない」と答えた人に聞く

5.5.1 「どこが良くないか、書ける人は書いてください⁷。」

- ・漢字が非常に難しい。日本語（平仮名のことか？）と中国語（漢字のことか？）を読むことを学習するのは難し過ぎる。
- ・会話練習が足りない。
- ・全体的な内容としてはいいが、例えば文法や会話については、日本人がしょっちゅう使う表現なのに我々はクラスで習わなかった、ということがある。
- ・(C1クラスの文法)宿題がもっと多いほうがいい。上達がもっと速くなるだろう。
- ・私たちがやらされたスピーチや作文は、いつも同じようなものだった。文法は、すでに知っていることの繰り返しが大部分だった。トピックの幾つかは後味の悪いものだった。例:「はんにん」について学ぶとか、アフガニスタンで殺された人たちについての新聞記事を読むとか。聴解練習はつまらなかった。教師はこれに時間をかけ過ぎである。

(各一人)

5.5.2 「『もっと教えて欲しい』と思うことはどんなことですか。いくつでも選んでください。」

話し合い活動	14人 (51.9%)
会話練習	13人 (48.1%)
聴解	13人 (48.1%)
読解	9人 (33.3%)
ビデオ	8人 (29.6%)
文法	7人 (25.9%)
漢字	5人 (18.5%)
スピーチ	5人 (18.5%)
作文	3人 (11.1%)
その他	0人

7 「あまり良くない」と答えたのは1名であるが、その学生以外にも意見を書いた学生がいたので、それらの学生の意見もここに載せた。日本語で書かれたものは、できる限り原文をそのまま載せたが、そのままでは分かりにくいと思われるものについては、多少意識したりまとめたりした。英語・中国語で書かれたものは翻訳した。()内は筆者のコメントである。

5.6 教授方法についてどう思うか

「とても良い」を5点,「良くない」を1点として平均点を計算すると3.9点である。

とても良い	大体良い	普通	あまり良くない	良くない
3人	18人	5人	1人	0人

5.7 「5.6で『あまり良くない』『良くない』と答えた人は、どこが良くないか書ける人は書いてください⁸。」

- ・教師によって教え方が違う。
- ・何人かの教師は、私たちのレベルが分った後でも、もっと低いレベルの人たちに話すように話した。
- ・励まし方が足りなかった。(各一人)

5.8 「クラスについて、問題、希望などがあれば書いてください。」

- ・非漢字圏の学生の漢字学習の大変さを理解し、その手当てを十分にしてもらいたい。
- ・コンピュータを使って日本語を書くこと
- ・習ったことを使って話すこと
- ・会話の練習がもっと多かっただらいい。
- ・発音が困難である学生のことを理解してほしい。
- ・聴解、作文をもっとふやしてほしい。
- ・時間割について。あるレベルの時間割は、いつも同じ時間帯でない方がいいと思う。たとえば私のBクラスの場合、4日の授業のうち3日が2限目だったが、実験との関係でとても困った。
- ・クラスで使われる言葉はAクラスであっても日本語のみである…が、OK。
- ・読解クラスでは、新聞や雑誌のような、もっと実践的なものを学習した方がいい。
- ・とにかく教え方がつまらなかった。もっと学ぶべきことは沢山あるが、新鮮なアプローチが必要である。作文や聴解練習の他にも教え方がつまらなかったのがあまり一生懸命勉強しなかった。いつも同じ変わり映えのしない古臭いものだった。
- ・ビデオをたくさん見たい。

8 「あまり良くない」と答えたのは1名であるが、ここでも意見を書いた学生が他にいたので、それらの意見も載せた。

・進度が速い。(各一人)

5.9 今受けているクラスはどのくらい負担になっているか

とても負担	かなり負担	普通	あまり負担になっていない	全然負担になっていない
0人	8人	14人	5人	0人

5.10 5.9で「とても負担」「かなり負担」と答えた人に聞く。その理由は？
(いくつでも)

専門が忙しいから	6人
日本語のクラスが難しい(大変だ)から	0人
アルバイトが忙しいから	1人
家庭の事情があるから	2人
その他	1人

(「その他」の内容：宿題が多い。いくつか他の講義も受けたいから。)

問6 問3の質問で「受けていない」と答えた人に聞く (対象54人)

6.1 どうして日本語のクラスを受けていないのか (いくつでも)

専門の授業が忙しくて日本語のクラスを受ける時間がない。	39人 (72.2%)
今の日本語のクラスの内容が私には合わない(必要ない)。	14人 (25.9%)
今の日本語能力で十分だ。	11人 (20.4%)
専門の授業と時間が重なる。	11人 (20.4%)
指導教官が専門に専念するように言っている。	6人 (11.1%)
日本語の授業が面白くない。	3人 (5.6%)
日本語は必要ない。	1人 (1.9%)
アルバイトが忙しい。	1人 (1.9%)
家庭の事情で受けられない(配偶者や子供のことで忙しい,等)。	1人 (1.9%)
その他	5人 (9.3%)

「その他」の内容：

- ・もう学位を取って帰国するから
- ・研究で忙しいから
- ・修論を書いているから
- ・もうすぐ帰国するから
- ・Fクラス(最上級クラス)まで行ったから

6.2 どんな日本語のクラスがあったら、受けたと思うか（いくつでも）

6.2.1 時間

週あたりの回数が少ない（週1～2回）クラス	17人（31.5%）
5限以降のクラス	12人（22.2%）
もっと短期間（1～2ヶ月）で終わるクラス	10人（18.5%）
今のままでよい。	9人（16.7%）
一回の授業時間がもっと短いクラス	8人（14.8%）
その他	7人（13.0%）

「その他」の内容：

- ・短くて効果的
- ・専門用語を教えてくれる／5時以降のクラス
- ・空いている時間…例えば夜…のクラス
- ・今やっている授業はやさしいから
- ・授業時間がもっと短い方がいい。内容がもっと多彩であってほしい。
- ・1限の開始時刻が早過ぎる。2限以降に始まるようにしてもらいたい。
- ・大学院生に単位が出るクラス

6.2.2 どんな日本語のクラスがあったら、受けたと思うか（いくつでも）

サバイバル会話	29人（51.9%）
口頭発表	24人（42.6%）
聴解	22人（40.7%）
レポート・論文作成	19人（35.2%）
作文	17人（31.5%）
読解	16人（29.6%）
ビデオ	14人（25.9%）
新聞購読	13人（24.1%）
宿題がないクラス	13人（24.1%）
予習・復習をしなくてもいいクラス	9人（16.7%）
小テストがないクラス	8人（14.8%）
漢字を勉強しない（ひらがなとカタカナだけの）クラス	0人（0.0%）
その他	8人（14.8%）

「その他」の内容：

- ・漢字クラス
- ・学生の専門別クラス

- ・とてもよくできる中国人学生と、非漢字圏の初心者の違いを考慮してほしい。
- ・数回でよいから、発表の仕方についてのクラスをして欲しい。
- ・もっと練習したい。
- ・文法，練習
- ・日本語能力試験1級と同じレベル
- ・英語が話せる教師。そうすれば説明が分かりやすくなるし、その課の学習の必要性がよく分かり、単に文法構造を暗記するよりも、(以下不明)
- ・専門用語 分野別 (例：半導体系，情報系)
- ・来日直後の半年間、研究活動をせずに日本語の勉強をすることを大学が許可してくれたらいいと思う。大部分の学生は、限られた期間内に研究活動をしなければならないという悩みを持っているからである⁹。

4．終わりに

総合日本語コースの最大の問題は、「日本語学習に関して、ニーズ・学習環境が異なる学生たちが同じコースで学んでいる」ということである。一方には、日本語の他に専門を持ち、その学習・研究活動の傍ら日本語を学習する学生（大学院生，研究生など）がおり，他方には，日本語が必修であり日本語学習にその大部分の時間を割くことができる学生（留学生センター所属の学生）がいる。角間キャンパスにおいては，上記の二つの異なるタイプの学生たちが同じ日本語コースで学習している¹⁰。

現在のコースデザインは圧倒的に日本語必修の学生に対応しており，他に専門を持つ学生には十分対応できていない。そのため，これらの学生にとって日本語学習の継続がかなり困難であることは，総合日本語コースのかねてからの懸案であった。

今回の調査では，「日本語クラスを受講している学生」36人についてだけでなく，「日本語クラスを受講していない学生」54人の状況をもある程度把握することができた。

9 この意見は、「提案」として最後のページの欄外に書いてあったものである。下線原文のまま。

10 「専門で忙しい」と答えた学生は，研究生やその他の学生より院生の方が多い（有意差あり）。また，院生は研究生やその他の学生に比べて，日本語の授業を受ける学生が（有意に）少ないことも今回の調査で確認された。面白いのは，それでも自然科学研究科の学生は，医学系研究科の学生に比べ受講している学生が比較的多いことである。医学系の院生の場合，自分のキャンパス（宝町キャンパス）で日本語の授業が行われていないことが影響している可能性がある。

問6. 1「どうして日本語のクラスを受けていないのか」に対し、「日本語は必要ない」及び「今の日本語能力で十分だ」という回答、すなわちはっきりと「日本語学習の必要性がないから」と答えた回答の合計は12であるのに対し、その他の回答の合計は77である。中でも、「専門の授業が忙しくて日本語のクラスを受ける時間がない」「専門の授業と時間が重なる」（この二つの回答の合計：52）「日本語の授業が面白くない」「今の日本語のクラスの内容が私には合わない（必要ない）」（この二つの回答の合計：17）という回答は、現在のコースデザインがこれらの学生のニーズと学習環境に応えておらず、改良の必要があることを示している。

総合日本語コースが日頃抱える問題、また今回の調査の結果は、日本語が必修でない学生が日本語学習を無理なく継続できるようなコースデザインを提供することの必要性を示唆している¹¹。

今回の報告では、結果の詳しい分析までには至らなかったが、総合日本語コースの向かうべき方向の決定に際して考慮すべき重要な要素は、ある程度明らかになった。

これからこれを基にどのようなコースに変えていくか検討し、実行に移していかなければならない。

11 例えば、日本語の授業を受けていない人で「専門で忙しい」や「時間が重なっている」を選んだ人は、「週あたりの回数が少ないクラス」や「短期間で終わるクラス」を選ぶ傾向がある。「専門で忙しい」と答えた人は、更に「夕方・夜に行うクラス」を選ぶ傾向もあり、また宿題がなかったり、予習・復習をしないでよいクラスを選ぶ傾向がある。このような特徴を持つクラスは現在の総合日本語コースには存在せず、このことは、これからどのようなコースに変えていくかという点についての重大な示唆となろう。

(資料1) アンケートの質問内容

以下の質問に答えてください。□にはチェック()してください。()には日本語(または英語か中国語)で答えてください。

問1 あなたのことについて聞きます。

1-1 年齢()歳 1-2 性別 □男 □女

1-3 国籍()

1-4 所属 □学部() □研究科() □その他()

1-5 身分 □学部生 □大学院生 □研究生 □その他()

1-6 いつ日本に来たか()年()月 来日

注: 金沢大学に来た時ではなく、今回日本に来た年と月を書いてください。

1-7 いつ自分の国に帰るか()年()月 帰国予定 □分からない

1-8 来る前に日本語を勉強したか。 □はい(年 ヶ月) □いいえ

問2 次のような日本語は、あなたにとってどの程度必要ですか。

1) 生活に必要なレベル(例: 買い物をする, 乗り物に乗る, レストランで食事をする, 病院に行く, などのときに使う日本語)

(「1. 読む, 2. 書く, 3. 話す, 4. 聞く」のそれぞれについて下のような5段階評価をしてもらった。以下の設問でも同様。)

□とても必要 □かなり必要 □普通 □あまり必要ではない
□不要

2) 日常的な話題を扱う日本語(例: ホストファミリーと話す, ホストファミリーに礼状を書く, テレビドラマについて話す, 自分の国について話す, などのときに使う日本語)

3) 知的な話題を扱う日本語(例: 新聞や雑誌を読む, 文学, 音楽, 美術, 科学, 社会, 経済などについて情報を得る, などのときに使う日本語)

4) 自分の専門分野のことを扱う日本語(例: 学会で発表する, ゼミで討論する, 論文を書く, 専門書を読む, などのときに使う日本語)

問3 あなたは今, 金沢大学で日本語のクラスを受けていますか。

□受けている □受けていない

ここで、「受けている」を選んだ人……問4→問5と進んでください。

ここで、「受けていない」を選んだ人……問6へ進んでください。

問4 問3の質問で「受けている」と答えた人は、どのクラスを受けていますか。

- 総合日本語コース 研修コース 日本語B
その他（コース名： _____ ）

問5 今受けている日本語のクラスについて教えてください。

問5-1 今受けているクラスに、どのくらい満足していますか。

- とても満足 大体満足 普通 あまり満足していない
不満

問5-2 今受けているクラスのレベルは、あなたの日本語のレベルにあっていますか。

- 高すぎる やや高い ちょうど合っている やや低い
低すぎる

問5-3 クラスの時間数（週何回か）についてどう思いますか。

- 多すぎる やや多い ちょうど良い やや少ない
少なすぎる

問5-4 クラスで教えられている内容について、どう思いますか。

- とても良い 大体良い 普通 あまり良くない 良くない

問5-5 5-4で、「あまり良くない」「良くない」と答えた人に聞きます。

問5-5-1 どこがよくないか、書ける人は書いてください。

（例：文法説明が少なすぎる、書く練習が多すぎる、話し言葉についてあまり教えてくれない、など）

（ _____ ）

問5-5-2 「もっと教えてほしい」と思うことは、どんなことですか。いくつでも選んでください。

- 文法 作文 読解 聴解 漢字 話し合い活動
会話練習 スピーチ ビデオ その他（ _____ ）

問5-6 教授方法について、どう思いますか。

- とても良い 大体良い 普通 あまり良くない 良くない

問5-7 問5-6で、「あまり良くない」「良くない」。

どこがよくないか、書ける人は書いてください。

（例：先生によって教え方が違う、英語を使って説明しない、宿題が多い、クラスの人数が多い、進度が速い、先生が厳しすぎる、など）

（ _____ ）

問5-8 クラスについて、他に何か問題・希望があったら、自由に書いてください。
()

問5-9 今受けているクラスは、あなたにとってどれくらい負担になっていますか。
とても負担 かなり負担 普通 あまり負担になっていない
全然負担になっていない

問5-10 5-9で、「とても負担」「かなり負担」と答えた人に聞きます。
その理由は何ですか。いくつでも選んでください。

- 専門が忙しいから 日本語のクラスが難しい(大変だ)から
アルバイトが忙しいから
家庭の事情がある(小さい子供がいる,など)から
その他()

問6 問3の質問で「受けていない」と答えた人に聞きます。

問6-1 どうして日本語のクラスを受けていないのですか。いくつでも選んでください。

- 日本語は必要ない 今の日本語能力で十分だ。
専門の勉強が忙しくて日本語のクラスを受ける時間がない
専門の授業と時間が重なる アルバイトが忙しい
家庭の事情で受けられない。(配偶者や子どものことで忙しい,など)
日本語のクラスがおもしろくない
今の日本語のクラスの内容が私には合わない(必要ない)
指導教官が専門に専念するように言っている
その他()

問6-2 どんな日本語のクラスがあったら、受けたいと思いますか。いくつでも選んでください。

問6-2-1 時間について

- 今のままでよい 一回の授業時間がもっと短いクラス
週あたりの回数が少ない(週1~2回)クラス
もっとと短期間(1~2ヶ月)で終わるクラス 5限以降のクラス
その他()

問6-2-2 どんな日本語のクラスがあったら、受けたいと思いますか。いくつでも選んでください。

- サバイバル会話 作文 読解 聴解 レポート・論文作成

